

# 施策項目 2 4 教員の養成・採用・研修の一体的な改革の推進

[評価結果]

【担当課：教職員育成課(教職員課)】



担当課 HP

<b>総合評価</b>	<b>計画どおり</b>
-------------	--------------

定量評価 [指標]	A
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	2	1	0	0
d 評価となった指標					

定性評価 [施策]	進展あり
<p>教員の養成・採用・研修の一体的改革の推進に向けて、国の指針改定を踏まえた「教員育成指標」の改訂、教職の魅力啓発の取組の充実、「新たな教師の学びの姿」を実現するための令和5年度北海道教職員研修計画の策定等、質の高い教職人材の育成につながる取組を進めた。目指す教員像や資質向上の方策を指標や研修計画として明文化、教職の魅力啓発の取組の参加者の増などの成果が見られたことから、施策の進展が認められる。</p>	

## [施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」  
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

<b>《課題・背景》</b>	<p>(1) <b>教員の養成・採用・研修の一体的な改革</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年の教員大量退職の影響等により、経験年数の均衡が崩れ始め、先輩教員から若手への知識・技能の伝承が困難な状況</li> <li>国の答申等を踏まえ、「教員育成指標」の一部改訂が必要</li> </ul> <p>(2) <b>教員の採用・配置</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員採用選考検査の受検者が減少傾向</li> <li>長年勤務や都市・郡部間における人事の停滞により地域間に年齢格差が生じている状況</li> </ul> <p>(3) <b>教員の研修の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>改訂した「北海道教員育成指標」に基づく、新たな「教員研修計画」の作成</li> <li>キャリアステージに応じた学びや成長を支える教員研修の充実</li> </ul>
----------------	---

<b>(1) 教員の養成・採用・研修の一体的な改革</b>	
[P]	<p>①国の答申等を踏まえ、北海道教員育成協議会による「教員育成指標」の改訂を検討</p> <p>②大学向け出前講座の拡充による「教員育成指標」の理解促進</p> <p>③教職の魅力向上に関する取組の充実</p>
[A]	<p>①国の動向や本道の現状を踏まえた教員育成指標の改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員育成協議会を7回開催し、教員育成指標を改訂</li> </ul> <p>②教職課程を有する大学に対する出前講座実施の働き掛けの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規4大学を含め、13回の実施</li> </ul> <p>③教職の魅力啓発に関する各取組の充実・拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>草の根教育実習は、約30名増の延べ約150名が参加</li> <li>小・中インターンシップは、約230名増の約620名が参加</li> <li>教員養成セミナーは、約560名増の約1,100名が参加</li> </ul>
[D]	
[C]	
<b>(2) 教員の採用・配置</b>	
[P]	<p>①人事異動要綱・要領や新採用者の適正規模配置の徹底</p> <p>②地域枠採用・広域人事等の推進による教職員構成の適正化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受検者増に向けた教員採用選考検査の見直し</li> </ul>
[A]	<p>①都市部と郡部間の異動促進を図るとともに、育成を念頭においた初任者の配置を引き続き実施</p> <p>②平均年齢の高い管内と低い管内で教員の人事交流を行う広域人事を引き続き実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録発表時期の早期化</li> <li>第2次検査の札幌会場1増</li> <li>教職大学院修了者を対象とした特別選考を新設</li> </ul>
[D]	<p>①都市部と郡部間の異動促進を進めるとともに、育成を念頭においた初任者の配置を引き続き実施</p> <p>②地域枠採用の継続(4管内：日高、宗谷、オホーツク、根室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1次検査の会場を大阪府内に新設、第2次検査会場を受検者が選択、小学校及び特別支援学校教諭(小学部)の実技検査を廃止など、受検者増に向けた教員採用選考検査の見直しを実施</li> <li>平均年齢の高い管内と低い管内で教員の人事交流を行う広域人事を実施</li> </ul>
[C]	<p>①・② 全道的な教育水準の維持向上や学校の活性化を図るため、各学校における更なる年齢構成の適正化が必要</p> <p>②教員採用選考検査受検者が昨年度に比べ減少していることから、質の高い教員の確保のため、受検者の増加に向けた更なる取組が必要(受検者数 R3 2,926名→R4 2,708名)</p>

(3) 教員の研修の充実	
【P】 ①改訂した「教員育成指標」に基づく、新たな「教員研修計画」の作成 ・教員のニーズに応じて学ぶ選択型の研修や効率的に学ぶことができるオンライン研修の積極的な導入 ・自ら計画的に研修を進めるための研修履歴の作成及びその活用に関する仕組みの構築	①検討会議等における研修体系の整備 ・改訂した「教員育成指標」に基づき、教員等の主体的・個別最適・協働的な学びを重視する「新たな教師の学びの姿」を実現するための新たな基本方針を策定 ・教員が自らの資質能力を高めていくために必要な研修体系の整備 検討会議（書面）7月開催、検討ワーキング（遠隔）9月28日、12月5日、2月10日開催 ・オンデマンド研修教材を選択するためのサポートツール「研修Linkナビ」の作成 ・研修履歴の作成に関する道教委方針等の作成及び各種校長会や教委連等の関係団体からの意見聴取（11月～1月、延べ7回）
【A】 ①R5北海道教職員研修計画における「新たな教師の学びの姿」の実現 ・研修履歴を活用した受講奨励の仕組みの構築による教職員の主体的な学びの促進 ・教職員一人一人や学校のニーズに対応した講座・コンテンツの提供による個別最適な学びの充実 ・日常の教育活動の充実につながる協議・演習、研修実施形態の工夫による協働的な学びの充実	①R5北海道教職員研修計画の策定 ・「新たな教師の学びの姿」の実現に向け、研修段階における改訂指標に基づく着実な人材育成が重要であることから、研修計画の新たな基本方針に基づく研修体系の整備、研修内容等の改善・充実が必要

### [指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 教員が道教委の研修に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映している学校の割合(%)	小	(H29) 81.3	84.5	88.3	89.7	94.4	100	100.6%	a	教育活動等に 関する調査	道教委	R4.6.1	公立小・ 中学校
	中	(H29) 73.9	78.5	83.8	89.8	93.5	100	101.7%	a				
② 道内の教員養成大学における教員養成カリキュラムが、道教委が策定する「教員育成指標」を踏まえたものとなっている割合(%)	(H29) 48.6	58.9	69.2	79.5	89.8	100	97.4%	b	北海道にお ける「教員育 成指標」に 関するアン ケート調 査	道教委	R4.4.1	道内の教 職課程を 有する大 学	
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		A						
	2	1	0	0									
新型コロナウイルスの影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組													
d評価に対する今後の取組													